

併

へい
あわせる

8画
イ 亻 亻 併 併

なりたち 二人の人が並んでその二人をつないだ形の併に人を加えた字。併がならぶ・つらなる・あわせるという意味の字。併という字から人の形がうかがえないため、人のしるしのイを加えた。



いみじゆく
▼ならぶ。ならべる。つらなる。
併発：一つのことに関連して、別のことが起こること。
併用 余病を併発する。
▼あわせる。
併合：二つ以上のものをあわせて一つにすること。合併。
併用：二つ以上のものをあわせて使うこと。
併存：いくつものものが一緒に存在すること。
併設：主になるものにあわせて設置すること。
よみかた 併記・併殺・併置

併瓶

瓶

びん

11画
ソ 卩 卩 瓶 瓶

なりたち 粘土を焼いた「か」わら「ん」の形を表した瓦と井との形声字。酒や水を入れる「かめ」を表した字。井は漢音はへいだが唐音はピン。わが国ではガラス製のどつくり型の容器を特に瓶ということが多い。



いみじゆく
▼かめ。水などを入れる深い器。
花瓶：花を生けるびん。
土瓶：湯をいれる陶製の道具。
鉄瓶：湯を沸かす鉄製の道具。
茶瓶：茶を煎(せ)じる釜(か)

他

た

3画
ノ イ 亻 他 他

なりたち 蛇の形を表した也と人との会意形声字。他は蛇のようないやな人(いやなやつ)という意味の字で、自分と全く関係ない人のことを表す字に使われるようになった。
よその人。



いみじゆく
▼ほか。よそ。自分以外。
他意：①別な考え・気持ち。②他意はない。③ふたごころ。謀反の心。
他言：他の人に話すこと。
用例 他言すべからず。
他生：過去・未来の世。用例 袖(で)触れ合うも他生の縁。(道でちよつと袖が触れ合うような些細(さ)な関係も、前世からの因縁による。)
他聞：人ぎき。よその人に聞かれること。用例 他聞をはばかる。

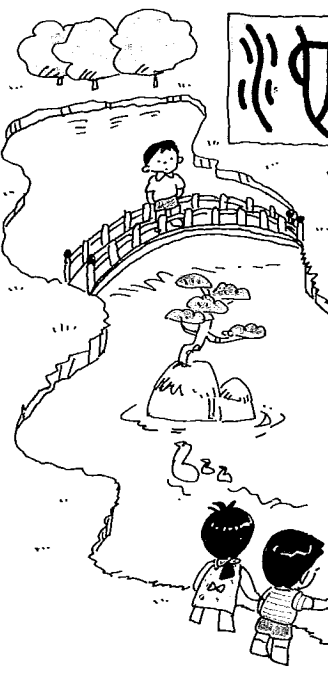
よみかた 他界・他郷・他國・他殺・他山の石・他事・他日・他念・他律・自他・排他

池

いけ

6画
ミ シ 池 池

なりたち 蛇の形を表した也と水との会意形声字。蛇がとぐるをまいたように、城のまわりをとりまいた「いけ」を表した字。人工的に水をためて作ったものをいうことが多い。



いみじゆく
▼いけ。水をためておく所。
金城湯池：非常に守りのかたい城。(金でつくった城と、熱湯を入れた堀の意味。)
池亭：池のほとりにある、あずまや。
貯水池：使うための水を貯(たくわ)めておく池。
電池：化学的作用によって電流を生じる装置。

他池